

図書室だより



藏書紹介

■女子高等教育の経営問題

教学刷新の根本資料として
女子教育振興会編／発行・昭和一年・
三七。

中等教育機関、師範教育機関、
専門学校などの男女比較を通して、
男子偏重の高等教育の現状を国家
が改善すべきであると訴える。

男子高等師範学校が昇格した東
京文理科大と広島文理科大の昭和
一〇年度予算は計一七九万円（う
ち政府支出一六四万円）、一方東
京女高師と奈良女高師は四九万円
(三九万円)。官立専門学校五三校
の予算は一五〇万円(八五〇万
円)だが、男女共学は東京音楽学
校一校のみで、そこで女子への政
府支出は九万円。また女子専門学
校四七校のうち私立の四一校はい
ずれも経営難で、例えば津田英学
塾の校舎新築の寄付金はほとんど
海外で募り、東京女子大は経常費
まで一部を海外に仰ぐ。屈指の富
豪が理事の日本女子大も新築には

桜楓会員の寄付募集が必要と。
当面は私立の女子専門学校を国
が保護、指導して、官立の代用た
るべく発達させることや、高等学
校令改正により私立女子高等学校
設立などを解決策として提言する。

新刊紹介

■文学にみる日本女性の歴史

西村汎子／関口裕子／菅野則子／江利昭
子編・吉川弘文館・二四二P・本体二八
〇〇円

日本の古代から近代までの各種
文学を題材に、女性史を考えよう
と編まれたのが、本書である。

「女性の政治的・社会的・經濟
的および家族内での地位の変遷」
「性差別の実態とその下での悲し
み、怒り、怨み」「女性解放、自
立への努力」など五点を作品選択
の趣旨とする。

日本書紀(自分の宮を持つ天皇
の妻たち)では、天皇とキサキの
関係が「より独立性のあるもの」と
して記述されていたが、蜻蛉日記、
源氏物語に至って、従属的な関係
の始まりがうかがわれるという。
乱世をしたかに生きた女性た
ちを描く中世、厳格をきわめた身
分制度の中での恋愛(好色五人
女、儒学批判(独考)尊攘運動に加わった女性の存在を明か

す(向陵集)近世、そして近代の
「きりひらく自立への道」へと辿
つてゆく。

「古事記」から「伸子」(宮本百
合子)まで五五編が取り上げられ
ている。

■現代フェミニズム理論の地平

ジエンダー関係・公正・差異
有賀美和子著・新曜社・二三〇P・本体
二二〇円

西洋近代以降の思想界に、二度
現れたフェミニズムの波。第一波
は一九世紀半ばから二〇世紀前半
まで続いた、女性参政権獲得運動
を中心とする波、第二波は一九六
〇年代後半に始まつて、今なお進
化しつつあり、女性学という學問
的および家族内での地位の変遷」

「性差別の実態とその下での悲し
み、怒り、怨み」「女性解放、自
立への努力」など五点を作品選択
の趣旨とする。

日本書紀(自分の宮を持つ天皇
の妻たち)では、天皇とキサキの
関係が「より独立性のあるもの」と
して記述されていたが、蜻蛉日記、
源氏物語に至って、従属的な関係
の始まりがうかがわれるという。
乱世をしたかに生きた女性た
ちを描く中世、厳格をきわめた身
分制度の中での恋愛(好色五人
女、儒学批判(独考)尊攘運動に加わった女性の存在を明か

紀の女性学への幕開けを告げるも
のであるともい。その過程にお
いて現れる新しい視界や次元によ
つて形成される地平——本書の
表題には、絶えず新たになってゆ
くものへの期待がこめられている。

■新しい家族と法律

中川淳著・有信堂・二四三P・本体二〇
〇〇円

家族法の権威による入門書。二
部構成で、「第一部 家族法の基
礎知識」では法の概要を説明し、
「第二部 家族法の現代常識」で
は家族にまつわる最近の問題を取
り上げ考察を加える。婚姻年齢や
女性の再婚禁止期間、夫婦の氏な
ど民法改正の焦点になつてゐる問
題はもとより、生殖技術の進展に
伴う代理母問題や、急速な高齢化
からくる老親扶養に関する問題ま
で、最近の社会問題の多くが家族
法と密接なかかわりをもつてゐ
ることを改めて気づかせてくれる。

セイに著者の人柄が忍ばれるが、
第II部中の「満年齢について」の
考察も興味深い。昭和五四年の最
高裁判例によれば、明治四五(一
九一二)年四月一日生まれの人が
満六〇歳になるのは、昭和四七
(一九七二)年三月三一日の午前
零時ということだが、著者は、一
年前零時に一歳を加える考え方

のほうがわかりやすいように思
っている。現実にそぐわなくな
った各種法制度に検討の時期がき
ていると促すなどの姿勢があわせ、
法律を一般の人々の身近に引き寄
せようとする努力を感じさせる。

■世界女性大事典

レ・ブレイクマン編・田中かず子他訳
日外アソシエーション・七八四P・本体一万
七六〇円

紀元前三五〇〇年から一九九六
年まで、女性の歴史を築いてきた
様々な出来事や人物とその事績を
年表形式で記述する。

例えば一九三〇年の項には、イ
ギリスのデパートで労働条件改
善・カナダで女性初の上院議員選
任・高群逸枝らが無産婦芸術連
盟を設立・久布白落実が全日本婦
選大会主催・南アフリカの白人女
性が投票権獲得・女性初の合衆國
最高裁判事S・D・オコナー誕
生/A・エアハートが飛行スピ
ード記録達成など三件。

歐米中心の内容ではあるが、各
時代に世界の各地で女性たちがい
かにたくましく、しなやかに生き
ていたか。歴史はもはや男性だけ
の物語ではないことを実感させる。
英語の「月経」の語源は、正確な
時を計る、ローマの女神メンスに
由来する(イギリス人の神話)な
ど、参考文献として収録された神
話と伝承、史資料も貴重である。